

## 食品安全委員会（第461回会合）議事概要

日 時：平成25年1月28日（月） 14：00～15：39

場 所：食品安全委員会大会議室

出席者：熊谷委員長ほか6名出席

傍聴者：報道2名、役所6名、一般2名

### 議事概要

#### （1）食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

##### ・ 遺伝子組換え食品等 2品目

①RN-No. 1株を利用して生産された5'-イノシン酸二ナトリウム

②RN-No. 1株を利用して生産された5'-リボヌクレオチド二ナトリウム

→厚生労働省から説明。

本件については、遺伝子組換え食品等専門調査会において審議することとなった。

##### ・ 肥料・飼料等 1品目

肥料取締法第3条第1項の規定に基づき定められた普通肥料の公定規格の改正について

→農林水産省から説明。

本件については、既に使用が認められている特殊肥料を、既に公定規格が定められ一般的に流通している普通肥料の原料として、当該普通肥料に化学的操作なく物理的に混合したもの又は化学的操作なく物理的に混合し、当該混合物を造粒若しくは成形したものの使用を認めるものであり、現在、ほ場において特殊肥料及び普通肥料を混ぜて使用されている実態と人の健康に及ぼす影響が変わるものではないと考えられることから、食品健康影響評価を行う必要のない場合として、食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当するものとされた。

#### （2）動物用医薬品専門調査会における審議結果について

##### ・ 「トリクラベンダゾール」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

→担当委員の三森委員及び事務局から説明。

取りまとめられた評価書（案）について、意見・情報の募集手続に入ることが了承され、得られた意見・情報の整理、回答（案）の作成及

び評価書（案）への反映を動物用医薬品専門調査会に依頼することとなった。

(3) 肥料・飼料等専門調査会における審議結果について

・「イノシトールほか8品目（対象外物質）」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

→担当委員の三森委員及び事務局から説明。

取りまとめられた評価書（案）について、一部修正の上、意見・情報の募集手続に入ることが了承され、得られた意見・情報の整理、回答（案）の作成及び評価書（案）への反映を肥料・飼料等専門調査会に依頼することとなった。

(4) 食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見について

・農薬「アルドリン及びディルドリン」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明。

「アルドリンの耐容一日摂取量を0.000025mg/kg体重/日、ディルドリンの耐容一日摂取量を0.00005mg/kg体重/日と設定する。なお、本剤は現在製造・使用等が禁止されており、得られているデータが限られていることから、リスク管理機関において引き続き関連情報の収集に努めるべきと考える。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）へ通知することとなった。

・動物用医薬品「ジルパテロール」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明。

「ジルパテロールの一日摂取許容量を0.083μg/kg体重/日と設定する。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）へ通知することとなった。

・遺伝子組換え食品等「チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統、チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ1507系統、除草剤グリホサート耐性トウモロコシNK603系統並びにアシルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ40278系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種（既に安全性評価が終了した7品種は除く。）」に係る食品健康影響評価について

→本件の取扱いについて、担当の山添委員から検討結果の報告があり、委員会で調査審議することとなり、同委員及び事務局から説明。

本件については、意見・情報の募集は行わないこととし、「『遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方』に基づき、

改めて安全性の確認を必要とするものではないと判断した。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）へ通知することとなった。

・ 遺伝子組換え食品等「コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシEvent 5307系統」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明。

「『遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準』に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないものと判断した。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）へ通知することとなった。

(5) 食品安全関係情報（12月21日～1月10日収集分）について

→事務局から報告。

欧州疾病予防管理センター（ECDC）が発行する学術誌に掲載された論文「ノロウイルス遺伝子型Ⅱ.4の新型変異株出現に伴う2012年後半の世界的なノロウイルスの活動の増加の兆候」について概要を報告。

(6) 食の安全ダイヤルに寄せられた質問等（平成24年11、12月分）について

→事務局から報告。

質問等に対する回答を一部修正の上、Q&Aに掲載することとなった。